

ぬるま湯※を入れてお好きな容器に移して使用

大容量

※水でも問題ありません。

水 teric
次世代洗剤液
ミズテリック

業務用水teric

汚れの除去&ウイルス対策&細菌の除菌抗菌&消臭を、やさしい成分で『オールインワン!』

持ち運びやすく、経済的



※写真は10L容量。注:容器に移す際は他の液体と混合を避けてください。

主成分:ポリオキシエチレンアルキルエーテル(0.2%)

出典:厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html

次世代洗剤液 水 teric(ミズテリック)の4つの特徴

浸透力乳化力
(溶液分散性)
優れた洗浄能力の発揮



数回のすすぎで
残留洗剤は水とほぼ同一

微生物分解性により
排水処理に支障が無く、
産業公害上大変有利



毒性試験は、塩より安全

優れた除菌・漂白・
脱臭・抗菌作用



安全性が高く、自然にも
やさしい、酸素系(O₂)の力

無臭・無刺激性で
手肌や機械・器具類の
材質を傷めない



妊婦や乳児にもやさしい

除菌・抗菌データは裏面へ▶

SYMPHONICWAVE

製造・販売元/
合同会社Symphonic Wave(シンフォニックウェーブ)
〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂14-947-2

次世代洗剤液 **水teric** (ミズテリック)

TEL:0265-83-6700

詳しくはHPを
ご覧ください



次世代洗浄液 wateric(ミズテリック)とは？

製薬会社が洗浄システムの研究所と共に、カテーテルや人工透析器の洗浄のための除菌洗浄剤が開発されました。人体や自然に優しく安全性の高い酸素系(O₂)による洗浄力・除菌抗菌脱臭力に優れた製品です。それから20年以上主に医療現場で使用され、その由来から生まれたのが「次世代洗浄液 wateric(ミズテリック)」です。肌にやさしい植物系非イオン性界面活性剤を使用していますので、妊婦、乳幼児にも安心してお使いいただけます。更に、最大48時間の抗菌性能があります。(使用環境によります)市販の除菌抗菌液と言えば ① 塩素系(トリハロメタン発生:発がん性有毒) or ② 酸素系(無臭)となりますが、②は安全性が高い分、製造コストが高い欠点があります。通常の水系洗浄剤は、植物から得られる油脂のケン化または、脂肪酸の中和により製造されたり、高級アルコールから誘導される界面活性剤とビルダー等を混合して目的に合った成分を合成して製造するのが一般的であるのに対し、当品の由来はある種の植物の糖分から製造される高級アルコールから誘導される界面活性剤と〇〇を融合処理して製造される洗浄剤で生成過程が全く異なった新しい系列に属します。

業務用洗剤というものは、環境衛生や排水処理上、様々な条件が要求されます。条件即ち、無りんで毒性が極めて低く、除菌、漂白性、微生物分解性(バクテリア)、脱臭性、優れた洗浄力、手肌や対象物を傷めない無刺激性の諸条件、また細菌の増殖に必要な栄養分を除去し、強力な脱臭除菌作用を示す酸素(O₂)の発生と完全植物性界面活性剤(高い安全性)と洗浄ビルダーを安定配合等、具備する、というものです。

構成する成分は、極普通に売られている成分ですが、製造過程で生成される非イオン界面活性剤が含まれております。

それぞれの原料の特性を特殊な製法によって有機的に結合させ、その要素の全てを超微粒子であるコロイド(分子やイオンよりも大きい粒子)にし、液中に分散させて、安全性と環境への配慮をして生まれた洗浄除菌抗菌製品由来、それが「次世代洗浄液 wateric(ミズテリック)」となります。



使用されたお客様からのご感想

飲食店

テーブル拭きの後のアルコール消毒は今まで2重の作業でしたが、watericで一度に完結できるようになりました。油汚れも取り除けてウイルス対策や除菌消臭もできるので助かります。水拭きだけで取れなかった汚れもwatericですっきりとれるので、白い布巾も真っ黒になります。食器洗浄、店内トイレ、窓、床等の掃除全般にも使用できるので汎用性がありコスト削減にも役立ちます。アルコールに弱かった手荒れも改善されました。



中古品・古着取扱い店

不特定多数の触れた商品は、汚れの除去により清潔に保つことも重要ですが、最近ではウイルス対策も必要です。アルコールではモノへの劣化があったりして対策に苦慮していました。汚れとウイルス対策が一度にでき、人体やモノにやさしいということでwatericを使っています。また中古品は消臭も重要なもう一つの対策です。watericはこれら対策が可能であるので役立っています。



次世代洗浄水 wateric の各種細菌に対する抗菌力試験

次世代洗浄水 wateric の各種細菌に対する抗菌力試験

試験方法：平板気積放による
 使用培地：Nutrient agar medium (普通寒天培地)
 培養：37度C 48時間

供試菌(検)

1. Staphylococcus aureus FDA2099 (黄色ブドウ球菌)
2. Saracina lutea PCF1001 (八連球菌)
3. Diplococcus Pneumonia (肺炎球菌)
4. Streptococcus Falcalis (大便連鎖球菌)
5. Bacillus subtilis PC1219 (枯草菌)
6. Escherichia coli NIHJ (大腸菌)
7. Shigelle dysenterial (志賀A郡赤痢菌)
8. Pseudomonas aeruginosa (緑膿菌)

希釈/菌 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
× 4 0 0	-	-	-	-	-	-	-	-
× 8 0 0	-	-	-	±	-	-	-	-
× 1 6 0 0	-	-	-	+	-	-	-	-
× 2 0 0 0	-	-	-	+	-	±	±	-
× 3 2 0 0	-	-	±	+	-	±	±	-
× 4 0 0 0	±	-	+	+	-	+	+	-
× 6 4 0 0	+	-	+	+	-	+	+	-
× 8 0 0 0	+	-	+	+	-	+	+	±
× 1 2 8 0 0	+	±	+	+	±	+	+	±

- : 細菌の発育を認めず ± : 細菌の発育を一部認める + : 細菌の発育を認める

最小発育阻止濃度 37°C 48時間

菌体名	MIC (1/√2)	洗剤濃度
Staphylococcus aureus FDA2099 黄色ブドウ球菌	0.221mg/ml	0.03%
Saracina lutea PCF1001 八連球菌	0.088mg/ml	0.01%
Diplococcus Pneumonia 肺炎球菌	0.354mg/ml	0.05%
Streptococcus Falcalis 大便連鎖球菌	2.282mg/ml	0.25%
Bacillus subtilis PC1219 枯草菌	0.110mg/ml	0.02%
Escherichia coli NIHJ 大腸菌	0.442mg/ml	0.06%
Shigelle dysenterial 志賀A郡赤痢菌	0.442mg/ml	0.06%
Pseudomonas aeruginosa 緑膿菌	0.110mg/ml	0.02%

次世代洗浄水 wateric の除菌試験

次世代洗浄水 wateric の除菌試験

温度条件による殺菌力(大腸菌)の検討

供試菌株：Escherichia coli NIHJ
 試験方法：厚生省編・衛生検査指針・衛生薬検査指針に準ずる

① 作用温度 20°C

希釈/作用時間	2分30秒	5分	10分	15分
2%溶液	-	-	-	-
1%溶液	+	-	-	-
0.5%溶液	+	+	-	-
0.25%溶液	+	+	-	-
0.125%溶液	+	+	+	-

② 作用温度 40°C

希釈/作用時間	2分30秒	5分	10分	15分
0.5%溶液	-	-	-	-
0.33%溶液	+	-	-	-
0.25%溶液	+	-	-	-
0.20%溶液	+	-	-	-
0.125%溶液	+	+	-	-

③ 作用温度 60°C

希釈/作用時間	2分30秒	5分	10分	15分
0.33%溶液	-	-	-	-
0.20%溶液	-	-	-	-
0.125%溶液	-	-	-	-
0.100%溶液	-	-	-	-
control	-	-	-	-

④ 作用温度 60°Cにおける瞬間殺菌効果(秒)

希釈/作用時間	10秒	20秒	30秒	60秒
1%溶液	-	-	-	-
0.5%溶液	-	-	-	-
0.25%溶液	-	-	-	-
0.125%溶液	-	-	-	-

- : 細菌の発育を認めず + : 細菌の発育を認める